

Catch ● ● ● キャッチボール ● ● ● Ball

2

2026

February

Vol.952

～ INDEX ～ 【特集】令和7年産農産物を振り返る … 1～6

● しめ飾り寄贈 … 7 ● 青年部通常総会ほか … 8 ● シルバークリスマス会ほか・理事会だより … 9



新成人の正職員をご紹介します：記念品を受け取る稲田愛莉職員（右）、伊藤正人代表理事組合長（左）



令和7年産 農産物を振り返る

「A」びばい管内の基幹作物である水稲をはじめ小麦・大豆・その他園芸作物の生育状況などを振り返ります。

各作物の詳しい内容については、担当部署までお尋ねください。

《水稲・小麦》

米 麦 課 TEL 63-0526
《大豆玉ねぎ・アスパラ・ハスカップ》
農産園芸課 TEL 63-0527

【文責】アスパラ・ハスカップ・農産園芸課
その他…空知農業改良普及センター

水稲

『生育経過と農作業状況』

1 融雪と耕起作業

融雪期は4月4日（遅3日）でやや遅かった（空知農業改良普及センター調べ、以下の生育期節も同様）。

4月下旬からの断続的な降雨により、耕起盛期は5月9日（遅13日）となり、大きく遅れた。

2 は種作業

は種作業は平年並に行われ、は種期は4月22日（遅1日）だった。

3 育苗

は種後は低温・寡照に経過したが出芽は概ね良好で、出芽期は4月28日（遅2日）となり、出芽までの期間は6日間（平年5日間）だった。

5月1〜4半旬まで気温は高めに推移したため、苗の充実度は平年並だった。

4 移植作業

耕起作業の遅れにより、移植作業は5月23日（遅3日）でやや遅かった。

表1 「ななつぼし」の苗素質（中・成苗平均）

	R7年	平年	差・比率
草 丈 (cm)	13.3	13.9	-0.6
葉 数 (枚)	3.7	3.6	0.1
第 一 鞘 高 (cm)	2.6	2.7	-0.1
茎 数 (本)	1.4	1.4	0.0
乾 物 重 (g/100本)	3.1	3.2	97%
充実度 (乾物重/草丈)	0.23	0.23	100%

5 初期生育

活着期は5月27日（遅1日）、分げつ始は6月6日（遅1日）だった。5月5半旬、6月1半旬は気温がやや低く経過したため、分げつの発生は緩慢で、6月15日の茎数は203本（平年対比84%）だった。その後、6月2半旬からは高温・多照に推移したため、7月1日の茎数は639本（平年比109%）となった。

6 前期期間・冷害危険期

高温多照により生育は進み、幼穂形成期は6月25日（早4日）だった。前期期間、冷害危険期も高温傾向で推移し、冷害の発生は見られなかった。

表2 「ななつぼし」の生育経過

調査月日		草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎数 (本/m)	遅速 日数
6月 1日	R7年	17.9	4.6	102	±0日
	平年	18.2	4.5	97	
6月15日	R7年	28.6	6.7	203	±0日
	平年	27.5	6.6	241	
7月 1日	R7年	49.5	9.7	639	早4日
	平年	43.3	9.0	585	
7月15日	R7年	81.2	10.8	596	早7日
	平年	64.4	10.5	638	

表3 「ななつぼし」の生育期節

	活着期	分げつ始	幼穂形成期	止葉期
R7年	5月27日	6月6日	6月25日	7月9日
平年	5月26日	6月5日	6月29日	7月15日
遅速	遅1日	遅1日	早4日	早6日
	出穂始	出穂期	出穂揃	成熟期
R7年	7月15日	7月19日	7月24日	9月2日
平年	7月22日	7月25日	7月30日	9月10日
遅速	早7日	早6日	早6日	早8日

7 出穂

7月以降も高温多照に経過したため生育は進み、出穂期は7月19日（早6日）だった。出穂始から出穂終までの日数は9日間（平年8日間）だった。

8 登熟期間・成熟期・収穫作業

登熟期間も気温が高く生育は進み、成熟期は9月2日（早8日）で、登熟期間（出穂期〜成熟期の日数）は、平年より2日短い45日間だった。9月は断続的な降雨のために収穫作業の進みは遅く、収穫期9月12日（早7日）に対し収穫終は9月28日（±0）となった。

9 収量構成要素

中苗は、穂数・1穂粒数がやや少なく、成苗は1穂粒数が少なかった。成苗・中苗平均では、平年比 $\bar{m}$ 総粒数90%、稔実歩合102%、千粒重105%となった。

10 収量

北海道農政事務所による南空知の収穫量（11月18日現在）は10a当たり548kg、作況単収指数101と公表された。



表4 「ななつぼし」の収量構成要素

育苗様式	$\bar{m}$ 穂数 (本/ $\bar{m}$)		1穂粒数 (粒/穂)		$\bar{m}$ 総粒数 (粒/ $\bar{m}$)		稔実歩合 (%)		千粒重 (g)	
	R7年	平年比	R7年	平年比	R7年	平年比	R7年	平年比	R7年	平年比
中苗	567	96%	53.1	95%	30,133	92%	96.4	101%	24.0	105%
成苗	593	101%	54.8	89%	32,499	90%	95.7	103%	23.4	104%



令和7年産農産物を振り返る

11 品質

7月5半旬には平均気温26度以上が5日間続き（美唄アメダス）、登熟初期に高温に経過したが、白未熟粒や死米の発生は平年並だった。一部でくさび米（黒点症状米）の発生が見られた。タンパク質含有率は7.9%（平年7.7%）となり平年並みだった。

12 病害虫

いもち病の発生は、初発は遅く発生量は平年並だった。カメムシは多発傾向で、多くの地区で発生が確認され、一部で斑点米の発生が見られた。紋枯病（疑似紋枯症含む）は発生が散見され、病徴が進展した水田では倒伏が助長された。

令和8年度に向けて

1 ほ場準備

適期に融雪剤を散布して融雪を促し、停滞水の排出によりほ場の乾田化に努める。

2 育苗

近年は育苗期間が高温傾向であることから、健苗育成のためには育苗期間中の高温障害を防ぐためのこまめな温度管理に加え、は種作業を分散して育苗期間の長期化を防ぐ対策を検討する。

3 土壌診断に基づく施肥対応

土壌診断結果を活用して効果的に施肥を行う。リン酸やカリが過剰であれば、リン酸・カリ含有量の低い

銘柄への変更も検討する。ケイ酸分析値が低い場合は、積極的にケイ酸を施用する。ケイ酸は稲を頑丈にし、

光合成を促進することで健全な稲体を作られ、収量・品質の確保などにつながる。また、融雪剤としてのケイ酸質資材施用もケイ酸供給に有効である。

4 本田水管理

活着後は浅水管理で分げつ促進に努める。ただし、極端な低温の際は深水にして保護する。ワキ（土壤還元）が強い場合は中干しや水の入れ替えを実施する。冷害危険期終了後は、根の活力回復による登熟向上や作業性向上を目的として中干しを実施する。登熟初期に高温が続く場合は、土壌の乾燥が品質低下を助長するため、間断かんがい等で土壌に水分を与え、地温と稲周辺の温度を下げるよう努める。

5 病害虫防除

紋枯病（疑似紋枯症含む）が多発したほ場では次年度に向けた防除を検討する。カメムシ対策として、発生状況をすくい取りやフェロモントラップ等による予察で確認し、適期防除および追加防除の判断を行う。

6 雑草対策

表層剥離や藻が例年発生するほ場では、藻の予防効果のある初期剤の使用を検討する。また、高温年は雑草の生育が早いので、雑草の生育状況を確認し、遅れずに除草剤を散布

する。

7 品質確保

登熟期間に高温に遭遇すると白未熟粒や死米、胴割粒の発生が懸念される。また、刈り遅れによっても胴割粒・茶米等の発生が助長される。刈り取り判定に基づく適期収穫を行い、刈り遅れのないよう努める。

秋まき小麦（きたほなみ）

『生育経過と農作業状況』

1 は種く出芽（R6年秋期）

令和7年産のは種始は、平年より10日遅い9月17日だった。は種期は9月22日、は種終は10月3日で、いずれも平年より5日遅れとなった。

出芽期は10月1日で平年より9日遅れた。越冬前の㎡当たり茎数は969本となり、平年を下回る生育量だった。

根雪始は平年より5日遅い12月4日となり、積雪期間は121日と平年より3日短くなった。美唄アメダスでは最深積雪が98cmに留まり、平年より18cm下回った。

2 起生期・出穂期

融雪期は平年より3日遅れたが、積雪期間が平年より短く推移したことから雪腐病の発生や冬損は少なく、起生期は平年より2日遅れとなった。起生期以降は気温が高く経過したため、幼穂形成期と止葉期、出穂期は平年並で経過した。

表1 「きたほなみ」の生育状況（越冬前）

	R 6	平 年	遅 速
は 種 始	9月17日	9月7日	遅10日
は 種 期	9月22日	9月17日	遅5日
は 種 終	10月3日	9月28日	遅5日
出 芽 期	10月1日	9月22日	遅9日
根 雪 始	12月4日	11月29日	遅5日
越冬前葉数	5.5葉	6.6葉	-0.7葉
越冬前茎数(本/㎡)	969本	1,473本	-504本

表2 「きたほなみ」の生育状況（越冬後）

	R 7	平 年	遅 速
融 雪 期	4月4日	4月1日	遅3日
起 生 期	4月5日	4月3日	遅2日
幼穂形成期	4月28日	4月27日	遅1日
止 葉 期	5月23日	5月22日	遅1日
出 穂 期	6月1日	5月31日	遅1日
成 熟 期	7月9日	7月12日	早3日
収 穫 始	7月13日	7月17日	早4日
収 穫 期	7月16日	7月20日	早4日
収 穫 終	7月23日	7月24日	早1日
登熟日数 (出穂期～成熟期)	38日	42日	-4日

3 成熟期、収穫作業

出穂以降は高温少雨で経過したことから成熟期は平年より3日早まり、登熟日数（出穂期～成熟期）も38日と4日短縮された。成熟期の穂数



令和7年産農産物を振り返る

は840本/㎡(平年比113%)を確保したが、稈長は78cm、穂長は9.1cmと平年並みだった。収穫作業は順調に進んだ。登熟期間の短縮により一部で細麦傾向となったが、内部品質は平年並だった。

4 病害

倒伏ほ場で眼紋病、一部ほ場で赤かび病、赤さび病の発生がみられた。

令和8年度に向けて

令和8年度のは種作業は水稲収穫作業との競合や9月中下旬の降雨の影響により大幅に遅れ、出芽期も9月28日(ー5日)となった。出芽後の気温がやや低く推移したことから、越冬前の草丈は12.3cm(ー8.8cm)、葉数は4.2葉(ー2.4葉)、㎡当たり茎数は955本と平年より少ない傾向となった。

1 施肥管理

近年、は種時期が早い、またはは種量が多く起生期の生育が旺盛なほ場が一部でみられる。そのようなほ場の場合は追肥時期を遅らせるか、減肥するなど、生育状況を確認しながら適切な施肥管理に努める。

2 眼紋病対策

連作や排水不良、起生期以降の茎数が多いほ場などで眼紋病の発生による倒伏がみられる。発生による倒伏を抑えるための対策は次のとおり。

①融雪促進に努めるとともに、額縁

明きよや溝きりなど、透排水性改善に努める。

②生育状況に応じた適正な施肥管理。

③幼穂形成期頃の薬剤(ファンタジスタフロアブルなど)散布。

3 赤さび病・赤かび病対策

赤さび病は幼穂形成期頃から発生がみられるので、幼穂形成期2週間後頃の適期を逃さずに防除し、出穂期以降は発生状況に応じた臨機防除を実施する。

赤かび病の防除は開花始以降で、高温年はかび毒(DON)の発生が懸念されるので薬剤の選定に注意する。

4 マガン対策

春に例年マガンが飛来するほ場ではマガンの食害による減収が懸念される。対策として飛来時期にテグスを張る場合の設置目安は高さ3〜4m、ポールの幅は16〜32mとする。設置中はテグスが切れていないか確認に努める。

春まき小麦(春よ恋)

『生育状況と農作業状況』

1 は種

は種始は平年並の4月10日だったが、4月中下旬の間断的な降雨によりは種終は平年より14日遅い5月6日となり、出芽期も平年より9日遅れとなった。

2 出芽後〜成熟期

出芽後の生育は順調に推移し、高温傾向でさらに登熟が進んだ。成熟

期は平年より4日早く、登熟日数は(出穂期〜成熟期)34日と短縮した。

茎数(穂数)は出穂期では平年並だったものの、登熟が進むにつれて少なめに推移し、成熟期の穂数は672本/㎡(平年比88%)となった。稈長は75cm(平年差-6.8cm)、穂長は8.8cm(平年差+0.3cm)だった。収穫作業は平年より4〜8日早く、順調に進んだ。うどんこ病や赤かび病が多発したほ場では低収、歩留まりの低下などがみられた。

表1 「春よ恋」の生育状況(春まき栽培)

	R7	平 年	遅 速
は 種 期	4月22日	4月14日	遅8日
は 種 終	5月6日	4月22日	遅14日
出 芽 期	5月3日	4月24日	遅9日
幼 穂 形 成 期	5月30日	5月24日	遅6日
止 葉 期	6月12日	6月9日	遅3日
出 穂 期	6月21日	6月18日	遅3日
成 熟 期	7月25日	7月29日	早4日
収 穫 始	7月23日	7月31日	早8日
収 穫 期	7月29日	8月4日	早6日
収 穫 終	8月3日	8月7日	早4日
登 熟 日 数 (出穂期〜成熟期)	34日	41日	-7日

令和8年度に向けて

1 耕起前のほ場の排水性改善

適期には種作業を進めるため、融雪材散布による融雪促進に努める。排水性の悪いほ場では、額縁明きよや溝きりなど、透排水性改善に努める。

2 うどんこ病・赤さび病・赤かび病対策

うどんこ病や赤さび病は幼穂形成

期頃から発生がみられるので、ほ場を観察し発生を確認したら出穂期以降までのローテーション防除を実施する。赤かび病の防除は開花始以降で、高温年はかび毒(DON)の発生が懸念されるので薬剤の選定に注意する。

大豆(ユキホマレ)

『生育経過と農作業状況』

1 は種〜出芽

は種作業は平年より1日遅く始まり、は種終は4日遅かった。一部ほ場では他作物との作業競合のため、は種作業は6月上旬となった。

は種後の降雨により土壌水分が適度に確保されたため、出芽は概ね揃った。

2 開花期

好天に恵まれ生育は順調に進み、開花期は平年より3日早まった。

3 成熟期、収穫作業

登熟期間中、7月下旬と8月下旬にまとまった降雨があったが、登熟状況は概ね平年並となった。

成熟期は平年より4日早い9月14日に迎えた。英伸長期以降も高温傾向が続いたが、8月中旬以降は最低気温が平年並まで低下したこと、令和5年産で発生した葉落ちや茎水分低下の遅れは目立たなかった。

4 病害虫

生育初期のアブラムシ吸汁に起因するわい化病がみられ、登熟が進ま

しし座



全体運: 自分一人でやらなければならないように。SOSを出すことも大事です。少しペースダウンして様子見を
健康運: 適度に休憩を入れて正解。温かいお茶が味方
幸運の食べ物: ダイコン

かに座



全体運: 外野がうるさそうですが、それもあなたを思っていること。広い気持ちで受け止めて。運勢は下旬から大きく上昇
健康運: 無理はしないで体力を温存して。しょうが湯も古
幸運の食べ物: レンコン

令和7年産農産物を振り返る

ない「青立ち株」が発生した。収穫物にはカメムシ類の吸汁痕が目立つものが一部で見られた。

表1 「ユキホマレ」の作業・生育状況

	R 7	平 年	遅 速
は 種 始	5月16日	5月15日	遅1日
は 種 期	5月28日	5月26日	遅2日
は 種 終	6月6日	6月2日	遅4日
出 芽 期	6月10日	6月8日	遅2日
開 花 期	7月12日	7月15日	早3日
成 熟 期	9月14日	9月18日	早4日
収 穫 期	10月6日	10月7日	早1日

令和8年度に向けて

1 湿害対策

集中的な降雨の際にも速やかに停滞水を排除できるように、暗きよの点検、額縁明きよ、表面水の排水のため溝切りなどを行う。

2 乾燥害対策

高温・干ばつが続く場合は、地下かんがいによるかん水を検討する。地下かんがいの効果を高めるためには、ほ場が乾燥した状態でのサブソイラによる心土破碎が有効である。

3 汚粒対策

適切なほ場作業と出芽揃いが良いほ場づくりを進めることで開花の均一化を図り、マメシクイガやカメムシ類等の莢実害虫の適期防除に努

める。収穫の際は茎水分を確認するとともに、適期に収穫作業が始められるよう排水性改善に務める。

たまねぎ(オホツク222)

『令和7年の生育経過と農作業状況』

(空知農業改良普及センター管内)

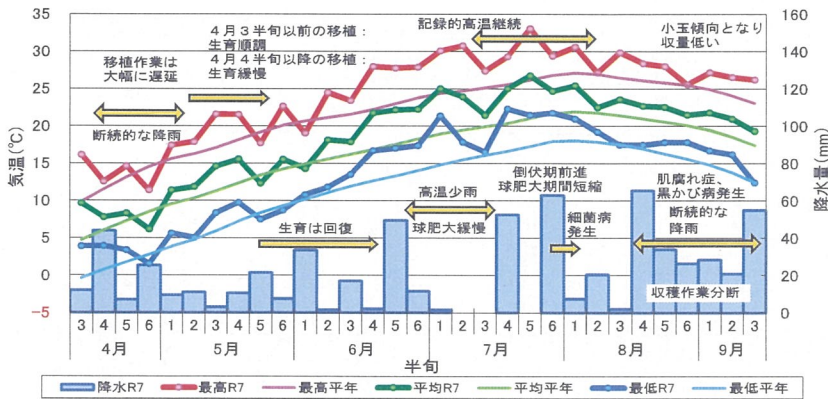
1 は種・移植

は種作業は順調に進み、は種期は平年より4日早かった。育苗期間の気温は高く推移し、生育は順調に進んだ。融雪期は平年より3日遅かったが、ほ場の乾燥は順調に進んだ。高温により苗の生育が前進し、移植は平年並に始まった。4月3半旬からの断続的な降雨により作業は大幅に遅れ、移植終は平年より9日遅れた。

2 活着・茎葉伸長期・球肥大期・倒伏期・枯葉期

活着は4月3半旬までに移植したほ場では順調であったが、4月3半旬以降の降雨の合間に移植されたほ場では遅れ、ほ場間差が大きくなった。5月下旬以降、気温の上昇と定期的な降雨により生育は回復し、球肥大期はほぼ平年並であった。一方、この時点ではほ場間差は大きいままであった。球肥大期以降の高温により倒伏期は平年より7日早まった。また、球肥大期から倒伏期までの期間が短く、球の肥大が不十分な状態で倒伏が進んだ。特に、活着が遅れたほ場では肥大不足が著しかった。枯葉期は倒伏期と同様に7日早かった。

図1 たまねぎの生育期の気象経過(美唄アメダス)



3 収穫

収穫作業は平年より3日早く始まり、収穫期も1日早かったが、お盆明けから9月初旬の断続的な降雨で作業は進まず、収穫終は平年より4日遅れた。

4 収量・品質

規格別球数割合はMまたはLが多く、収量は平年より低かった。規格外は小玉、変形の発生が多かった。

表1 たまねぎの生育概要(空知農業改良普及センター調査)

		生育概況							
		5/15	6/1	6/15	7/1	7/15	8/1	8/15	9/1
草丈 (cm)	R7	17.0	27.3	54.3	78.2	76.5	42.4		
	平年	15.4	28.4	55.7	78.9	81.1	62.1	-	-
葉数 (枚)	R7	2.6	4.0	7.1	9.3	8.4	5.3		
	平年	2.3	4.9	7.1	9.0	8.6	6.4	-	-
葉鞘茎 (mm)	R7	4.5	7.5	13.9	18.5	17.3	15.2		
	平年	3.9	7.8	13.6	19.3	19.4	15.3	-	-
球径 (cm)	R7	-	-	-	3.6	5.9	6.6	7.3	7.3
	平年	-	-	-	3.8	6.0	7.4	7.7	7.7
遅速日数		+1	-2	±0	-1	+7	+7	+7	+7

表2 たまねぎの生育期節(空知農業改良普及センター調査)

		生育期節					
		出芽期	球肥大始	球肥大期	倒伏始	倒伏期	枯葉期
R7		3/5	6/27	6/30	7/9	7/11	8/2
平年		3/6	6/25	6/29	7/16	7/18	8/9
遅速日数		+1	-2	-1	+7	+7	+7

『病害虫の発生状況』

ネギアザミウマの初発は平年並であった。高温・少雨により発生量は多かったが、適期防除により被害は平年並であった。

7月下旬の降雨や高温多湿の影響を受け、一部ほ場で軟腐病やりん片



2026.07.4
全体運: 好調運。困り事は少しそのままに。状況が好転する兆しです。目標は大きく、心意気を示すと協力が集まります
健康運: ダンスやラジオ体操などの全身運動がお勧め
幸運の食べ物: ホウレンソウ



全体運: コツコツと頑張れば成果が上がります。後半に向けてスピードを上げていって。書類の整理など細かい作業が吉
健康運: 腸活を心がけて。納豆やぬか漬で元気回復
幸運の食べ物: ブロッコリー

令和7年産農産物を振り返る

腐敗病による細菌性腐敗が見られた。
8月中旬以降の多雨により、肌腐れ症の発生が見られた。また、高温で発生しやすい黒かび病の発生が一部で見られた。

表3 たまねぎの農作業期（空知農業改良普及センター調査）

	農 作 業 期								
	は種始	は種期	は種終	移植始	移植期	移植終	収穫始	収穫期	収穫終
R7	2/9	2/16	2/24	4/17	4/28	5/9	8/2	8/24	9/12
平年	2/13	2/20	2/25	4/17	4/22	4/30	8/5	8/25	9/8
遅速日数	+4	+4	+1	±0	-6	-9	+3	+1	-4

表4 たまねぎの収量調査（空知農業改良普及センター調査）

	収量 (kg/10a)		球数割合 (%)							一球重 (g)
	総収量	規格内	2L	L大	L	M	S	規格内計	規格外	
R7	4,180	4,157	0.8	16.2	34.7	36.8	10.0	98.4	1.6	141
平年	6,776	6,536	8.5	36.3	38.8	9.0	1.5	94.1	5.9	224
平年差	-2,596	-2,378	-7.7	-20.1	-4.1	27.8	8.4	4.3	-4.3	-83

令和8年度に向けて

春先、育苗ハウス内に融雪水が浸透しないよう、溝切りなどを行う。たまねぎの安定生産には、「良い苗（適期苗）」を「良いほ場条件」で移植する

ことが大切であるため、ほ場の融雪を促進し、適期に移植できるよう準備する。
近年の極端な気象変動の影響を緩和するためには、ほ場の透排水性改善、土づくりが重要である（後述の『園芸全般』の項を参照）。また、可能な場合は、小麦・大豆・てん菜など畑作物との輪作を進め、根域拡大、紅色根腐病による根傷みの軽減を目指す。

アスパラガス

『生育経過』 1 ハウス作型

3月下旬から春芽の収穫が始まったが、寡照であったため萌芽の揃いは悪かった。4月中旬以降、気温の上昇に伴い、収量は増加し、悪かった前年よりも収量は多かった。立茎中は、6月上旬を除き日照に恵まれ、気温は高く推移したため、立茎枝の生育は良好であった。夏芽は、6月中旬から萌芽が始まった。7月下旬から収量は増加したが、7月は高温と乾燥により、開きや曲がり、空洞など外品の発生が多かった。8月中旬以降、気温は高めに推移し、収量、品質は良好であった。9月上旬の最低気温の低下により、曲がりが発生し、下旬から萌芽は緩やかに停止した。収量は平年並みであった。

2 露地作型

融雪は早かったが4～5月上旬の寡照により萌芽の揃いは悪かった。

5月上旬から収穫が始まったが、4月28日、5月1日の降霜により霜害が発生し、外品が多く、製品率は低下した。5月以降、気温は高めに推移したため、萌芽は順調であった。収量は平年並みであったが、前年に茎枯病が発生したほ場は、少なかつた。

夏芽は7月中旬から萌芽が始まったが、高温、少雨により萌芽数が少なく、開きや一時的な最低気温の低下による曲がりが発生したが、7月下旬以降の降雨により萌芽は回復した。8月以降は、中旬の少雨による開きや空洞が発生したが、気温は高めに推移し、頻回な降雨により、9月中旬まで収量、品質は良好であった。9月上旬の最低気温の低下により曲がりが発生し、中旬には萌芽が停止した。収量は、平年並みであった。

慣行栽培での春芽収穫後の生育は、6月下旬から7月上旬までの少雨により、一次萌芽での茎数は少なかつた。7月下旬以降は頻回な降雨と高温により、茎数は少なかつた。7月下旬以降は頻回な降雨と高温により、8月下旬と9月中下旬の強風による茎葉の倒伏や折れに加え、茎枯病の発生により、有効茎は少なかつた。

3 病害虫の発生状況

斑点病の発生は全期間を通して少なかつたが、9月中旬以降は目立つた。茎枯病は、ほぼ全ての露地作型で発生が見られ、非常に多かつた。疫病は、9月中旬以降、露地作型で

発生が見られた。
ネギアザミウマやカメムシ類は、7月上旬から増加したが少なかつた。ヨトウムシは8月中旬以降、発生や被害が多かつた。ハダニ類は、7月下旬から発生が見られ、ほ場によっては多発した。

令和7年秋季生育調査結果（JAびばい管内8ほ場調査）

栽 培	草 丈 (cm)	有 効 茎		斑点病 発病指数
		茎数(本/m)	茎径(cm)	
ハウス立茎	179.7	11	1.17	2.1
露地立茎	188.1	17	1.02	0.8
露地慣行	152.8	19	1.03	0.9

※草丈は、トップピング実施ほ場含む
※有効茎は、茎径0.5cm以上の茎葉
※斑点病発病指数（0～4の5段階評価）
0：発病なし
2：病斑が認められ、一部落葉、黄化
4：株の1/2以上が黄化、落葉

令和8年度に向けて

1 茎枯病の防除

感染には雨が必要で、雨が降ると広がり、萌芽直後から感染が始まる。斑点性病害の中でも感染力が非常に強く、翌春の収量への影響が大きい。主な要因としては次のとおり。
①春芽収穫打ち切り後から立茎が完成するまでの降雨。

令和7年産農産物を振り返る

②7月中旬以降の頻回な降雨。

感染する機会が長期間あり、最初に立茎した茎葉に加え、二次萌芽した若茎、成茎のりん片付近や新たに発生した下枝に罹病し、蔓延した。

発生場所は、次の対策を行う。

①茎葉残渣物は刈り取り、ほ場外へ搬出する（すき込まない）。可能であれば多発年は、翌春ではなく晩秋に刈り取り、ほ場外への搬出を行う。

②防除は雨前とし、立茎直後から開始する。特に、立茎開始から30日間は7日ごとに行い、初期感染を防ぐ。防除期間は、斑点病防除を兼ねて、9月上旬まで行う。

③散布水量は多めに、株元までしっかりと散布する。

④なるべく雨の降らない時期に立茎する。

⑤発病が見られたら、罹病茎葉は抜き取り、ほ場外へ搬出する（特に7月いっぱいには罹病茎葉の抜き取り重点時期）。

2 夏秋季の管理

夏の高温が常態化している。これに少雨が加わると、ハウス作型のかん水は、通常年の量、間隔では足りない。一度ほ場を乾かすと水が浸透しづらくなる事に加え、萌芽が止まり、回復に時間がかかる。ハウス作型は7月中旬～8月中旬は収穫盛期となるため、ピークに向けてかん水と同様に追肥を、遅れず十分与える。9月以降に萌芽が多い場合、夏芽として

収穫し、養分消耗を抑える。

ハスカップ

『生育経過』

融雪は早く、枝折れは少なかった。

発芽期は4月15日に迎えたが、4～5月上旬の寡照と降霜により、発芽はばらつき、展葉は遅かった。このため開花も昨年よりも4日遅い5月5日から始まったが、5月中旬以降の高温により開花は進み、開花期間は長かった。着果や果実の着色始めは昨年並みとなり、6月13日から収穫が始まった。6月下旬の降雨と強風による落果に加え、高温による過熟、落果が発生し、収穫期間は短くなったが、前年夏秋季の新しい枝の発生が良好であったこと、開花期間が長く後半まで収穫が可能であったことにより、前年よりも収量は多かった。

収穫終了後の生育は、7月は高温、少雨であったため、土壌の乾燥による枝や葉の枯れが見られたが、8月以降の頻回な降雨により、新しい枝の発生や伸長は良好であった。病害虫は、灰色かび病の発生は少なかった。アブラムシは、着果が始まる頃から発生が見られた。カイガラムシの発生はあるが少なかった。

令和8年度に向けて

1 防風網の設置

ハスカップは結実率が低く、個体

差も大きい。また、開花中は比較的气温が低い。訪花昆虫の活動が鈍い。防風網の設置により、気温を高め結実率の向上と、強風による落花（果）を防ぎ、収量の安定を図る。

2 害虫の防除

【カイガラムシ】

枝や樹皮の裂け目に約3～4ミリの褐色で貝殻状のものが付着、収穫中に葉や果実がベタベタしている、7月以降から葉裏に白い点々が見られる、これらの被害がある場合は、落葉後や発芽前に機械油乳剤95を散布する。

【アブラムシ】

落花頃から果実の着色期を中心に、防除を行う。

【ナガチャコガネムシ】

6月下旬頃から成虫となって羽化する。薄暗くなつてから、オスのみが地面すれすれを飛び、メスを見つけた尾し、すぐに土中へ潜る。本虫に使用できる農薬がないため、成虫の発生時期に捕殺して、発生密度をできる限り下げる。ハスカップは使用できる農薬が少ないため、病害虫の被害にあった葉や枝は、速やかに除去するなど耕種的防除に努める。

3 せん定

春先の融雪直後（発芽前）や秋季（落葉後）に行う。せん定は、樹ごとの結果枝の本数を確認しながら、地面に垂れ込んだ枝や交差している枝、株元から出る細い枝、害虫が寄生し

た枝などを除去し、作業性の良い骨格づくりを行う。

園芸全般

令和8年度に向けて

近年、極端な天候が多くなり、作物の生育や病害虫の発生に影響を与えている。気象に左右されない健全な作物生産には、ほ場環境の整備、土づくりが必須となる。

①透排水性を改善するため、心土破碎等による耕盤層破壊、明きよ・暗きよの設置、ほ場均平（表面排水の促進）など可能な限りできることを実施する。

②堆肥の施用、緑肥作物のすき込みなど有機物の投入により、土壌物理性の改善、地力の向上に努める。

ハウス野菜・花きについては、夏季の高温対策が今まで以上に必要となつてきていることから、遮光・遮熱資材の活用、換気改善等により、昇温抑制に努める。

薬剤防除に当たっては、使用時期や使用回数など適正使用基準を遵守し、ドリフトなどにより他の作物に飛散しないよう注意する。特に、防除機は使用後速やかに洗浄し、次回に使う際に薬剤が残らないようにする。



五穀豊穡を願い手づくりしめ飾り寄贈



左から鷲尾局長、伊藤組合長、振興局鳥井副局長、JA川原営農部長

JAとJA女性部は令和7年12月、空知総合振興局や美唄市などにしめ飾りを寄贈し、令和8年の五穀豊穡を祈願した。

JAは12月22日、岩見沢市の空知総合振興局を訪問。鷲尾亨局長に、手づくりのしめ飾り「福亀」を贈った。同局へのしめ飾りの寄贈は今回で18回目となる。

伊藤正人組合長が「今年も素晴らしいしめ飾りが出来上がった。来年も今年以上に良い年となるよう祈りたい」としめ飾りを手渡すと、鷲尾局長も「来年もより良い年になることを願う。素敵なしめ飾りを多くの来庁者に見てもらいたい」と笑顔で受け取った。

また女性部役員は12月10日、JAの伊藤組合長と美唄市の桜井恒市長を訪問し、手づくりのしめ飾り「福亀」を贈った。しめ飾りの寄贈は今回で20回目となる。

高橋絵和女性部長は「新年が明るく実り多い年になれば」と伊藤組合長と桜井市長に手渡した。

JAとJA女性部が寄贈する手づくりのしめ飾り「福亀」は上美唄開拓地区の女性グループが丹精して編み上げたもの。長寿を願う大きな亀と豊作の象徴でもある稲穂を下に垂らすのが特徴。



女性部役員から美唄市へ



女性部役員からJAへ

モナ・カサンドラ【プロフィール】 占いを学術的に解析する「ルネ・ヴァン・ダール研究所」の研究生となり、占星学のロジックを徹底的に解説・探求。コンピュータによるホロスコープ作成の道を開いた。現在は執筆活動を始め、さらなる占星の研究を重ねている。
ルネ・ヴァン・ダール研究所 <http://www.rene-v.com/>



うお座

全体運：上昇運です。最初は問題があっても徐々に解決の糸口が見えてきます。小まめなコミュニケーションを心がけて
健康運：歩きやすい靴が味方です。夜間の外出は慎重に
幸運の食べ物：キャベツ

2026.02
7

青年部活気みなぎる新体制へ



左から浅井部長、高橋副部長、太田副部長、海鉾理事、杉野理事、塚本監事、鈴木監事

青年部は令和7年12月26日、JA 3階大会議室で第77回通常総会を開き、新部長に浅井拓さん（前副部長）が就任。総会には委任状を含む40名が出席した。

開会の挨拶で伊藤正人代表理事組合長は「SNSや広報誌で青年部の活躍を見るたびに勇気づけられる1年になった。柔軟な発想と行動力を発揮し、これからも活躍してほしい」とエールを送った。

退任の挨拶で早川隼兵部長は「盟友と役員皆様の支えがあったからこそ青年部活動ができた。これからも一盟友として青年部を支えていきたい」と盟友に日頃の感謝を伝えた。

総会では令和8年度事業計画など全6議案を原案通り可決。浅井新部長は「盟友の皆様が参加したいと思う事業、参加して楽しかったと思える青年部活動にしていきたい」と決意を述べた。

同部は1月1日より新体制をスタートさせる。

部長以外の新役員は次の通り

- 副部長 高橋 健（再・茶1）
太田智也（新・元村）
- 理事 海鉾健斗（新・元村）
杉野巧真（新・中村）
- 監事 塚本健二（再・北美唄）
鈴木佑也（新・開発）

展示即売を通じて

市民と交流

女性部は12月15日、美唄市内の商業施設コアビバイで29年目となる「感謝祭2025」を開催。部員手作りのしめ飾りや手芸品、新鮮な野菜などを数量限定で販売し、会場を訪れた市民らで賑わいを見せた。

高橋絵和女性部長は「感謝祭は市民の皆様と交流できる貴重な機会。実際にふれあうことで、女性部活動の楽しさや魅力を多くの方に知ってもらいたい」と話した。



加工部会手作りの豚汁で体を温める市民



笑顔が絶えない クリスマス会

女性部シルバー部会は12月1日、J A 3 階大会議室で毎年恒例のクリスマス会を開催。部会員15名が参加し、初めてのモルック大会を実施。ルールを確認しながら、いち早く勝利条件の50点に到達するため4チームに分かれ、競い合った。

モルック大会で交流を深めた後は、食事を楽しみながら大人気のビンゴ大会を開催。部会員同士で特別なクリスマスを過ごした。



モルックを楽しむ部会員

施設を利用する 全ての人に

女性部は12月10日、地域貢献や市民支援活動の一環として「タオル一本運動」を実施し、美唄市内の養護老人ホーム恵風園を訪問。未使用のタオルや肌着などを寄贈した。

寄贈品を受け取った三輪淳志園長は「施設利用者で大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べた。女性部は今後も市民に寄り添い、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいく。



寄贈した女性部三役と恵風園の三輪園長

▼理事会だより

定例理事会

12月15日

臨時理事会

12月23日

《報告》

- ① 令和7年11月貸付実行報告
- ② 令和7年11月末現在、業務財務報告
- ③ 令和7年産米・大豆集荷状況報告並びに生産施設操業状況報告
- ④ 令和7年度決算推定報告
- ⑤ その他

《報告》

- ① 職員人事動静報告
- ② 決算・予算スケジュールについて
- ③ 令和8年度営農計画書審査日程報告

《議案》

- ① 年末手当の支給について
- ② 特別加給退職金の支給について
- ③ 秋季地域別懇談会意見等に対する回答について
- ④ 令和7年度自己査定に係る不動産評価基準の設定について
- ⑤ 固定資産（換地処分地）の取得について
- ⑥ 令和6年産主食用米の追加精算について
- ⑦ 令和6年産水田活用米穀（加工用）の追加精算について
- ⑧ その他

《議案》

- ① 令和8年度内部監査計画について
- ② 令和6年産普通小麦の最終精算について
- ③ 令和6年産大豆の最終精算について
- ④ 令和7年産特定米穀の精算について
- ⑤ 令和7年産普通小麦の追加概算金について
- ⑥ 令和7年産大豆の精算について
- ⑦ 令和7年度「らいす工房」調製米穀の精算について
- ⑧ 固定資産（らいす工房粗選機）の取得について
- ⑨ その他

…全議案承認



…全議案承認



女性部フレッシュミズ部会が冬季講習会を実施し、部会員 4 名が参加。今回は女性部の田中春子さん（茶志内 1）が講師を務め、桜餅づくりを体験した。部会員は熱心に作り方を学んだ。(12/03)



美唄市が主催する「子どものいる風景フォトコンテスト」の授賞式が子育て支援センターはみんぐで行われ、伊藤正人代表理事組合長が出席。J A びばい賞を受賞した家族に新米 5 ㌔などを贈呈した。(12/06)



美唄稲作振興会（斉藤良平会長）が J A 3 階大会議室で反省会を実施し、会員 8 名が参加。空知農業改良普及センターが作成した資料を基に令和 7 年産水稻の生育概要などを振り返った。(12/17)



美唄市水稻直播研究会（加藤禎行会長）が J A 3 階大会議室で令和 7 年度成績検討会を実施し、会員 16 名と賛助会員 17 名が参加。営農推進課向川成人営農技術主幹らより各項目ごとに情報を提供した。(12/19)



美唄農業情報システム研究会と美唄市農民協議会が J A 3 階大会議室で農業会計ソフトソリマチの講習会を開催し、会員ら 18 名が参加。基本的な操作方法などを参加者に指導した。(12/22)



青年部が J A 3 階大会議室で新旧役員会を開催し、部員 12 名が出席。早川隼兵前部長に伊藤正人代表理事組合長より感謝状や記念品が贈られたほか、令和 8 年度事業について協議した。(01/08)

想
い
よ
届
け

中標津町・稚内市新米販促

10月末から11月上旬にかけて、青年部では、毎年恒例の新米販売会を実施しました。

現地に精米機を持ち込み、「おぼろづき」と「ななつぼし」の2品種をその場で精米し販売しました。稲作が盛んでない地域でのファンの獲得を目的に行なってきたこの活動ですが、今年は活動の幅を増やし、例年の

中標津町での販売活動にプラスして、宗谷エリアの進出にチャレンジしました。

宗谷エリアでの販売先は、稚内市にある『相沢食料百貨店』さん。創業100年を超える地元から愛されるスーパーで、置いてある商品はどれも特選されたものばかりでした。

初めての場所ということもあり、売れるのか不安に思っておりましたが、結果は玄米15俵を持ち込みすべて完売。今回の販売をきっかけに、新たな取引先として定期的な注文と来年の販売会の実施もお願いされ、大成功の販売会となりました。

道東エリア中標津町での販売会では、初日が爆弾低気圧と重なり悪天候での実施となりました。屋外での販売が難しいことも想定しておりましたが、先方に臨機応変に対応して頂き店内で販売することができました。悪天候ということもあり、客足は多くありませんでしたが、初日は事前に精米して持ち込んだ6俵分を完

売。翌日の天気を祈りながら、残った14俵を持ち越しました。そして2日目は祈りが実り、降雨は無く、精米機3台フル稼働で精米。残りをすべて売り切り20俵完売となりました。

昨年からの令和の米騒動により、米価は未だ高騰しております。しかしながら販売会では、『この新米を樂しみにしていた』や『精米したてのいい香りがする』『これからたくさんお米を作ってほしい』などお客様から嬉しいお声をたくさん頂き、我々生産者が消費者と直接交流できる貴重な活動であると改めて実感しました。この活動を通して、美唄産米の



稚内市グループ

左から土屋さん、今田さん、高橋副部長、浅井副部長、小野さん



新米販促初の稚内市では販売開始早々に大行列ができました！

中標津町グループ



左から山角さん、皆川理事、早川青年部長、太田理事、市田さん



現地で精米して販売！

PR、ファンの獲得を目指し、少しでも米離れを食い止められるよう営農推進課と連携をとりながら、今後も継続して行なっていきます。

JAグループの 食農教育をすすめる 子ども雑誌

イラストで構成する楽しい表紙

毎月、旬の野菜キャラクターが登場します！

小学校やJAがすすめる食農教育のテキストなど、
広く活用されています

定価(税込)

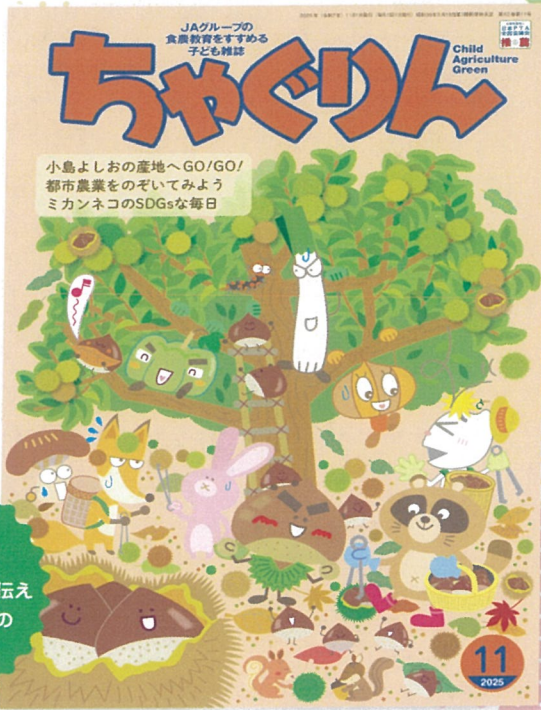
600円

※毎号統一価格

※2026年1月号、4月号、8月号には別冊付録が付きまゝ。

農業、食べ物、
健康、自然、
いのちのたいせつさを伝え
思いやりと助け合いの
精神を育む雑誌

JAグループ 家の光協会
〒162-8448 東京都新宿区市谷谷河原町 11 TEL 03-3266-9039
<https://www.ienohikari.net/>



JAグループの食農教育をすすめる子ども雑誌
Child Agriculture Green
小島よしおの産地へGO/GO/
都市農業をのぞいてみよう
ミカンネコのSDGsな毎日

11
2025

お申し込みはお近くのJAへ

こよみ・行事

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

- 11日 ○建国記念の日
○信用事業リスク管理強化委員会
- 13日 ○企画会議
○常務委員会
- 14日 ○定例理事会
○コンプライアンス委員会
- 16日 ○臨時企画会議
- 18日 ○常務委員会
- 19日 ○臨時理事会
- 23日 ○天皇誕生日
○期末監査2
(みのり監査法人)
～27日迄

シニア定期貯金のご紹介！

【お取扱期間】

令和8年2月1日～令和9年1月31日

【ご利用いただける方】

JAびばいで年金をお受け取りいただいている方

【お預入限度額】 **1,000万円まで**

【お預入期間】 **1年**

【適用金利】

- 100万円まで店頭金利+0.3%上乗せ
- 100万円超～1,000万円まで店頭金利+0.15%上乗せ

お預入は
おトクで安心な
JAバンクへ

お問い合わせはコチラ

 JAびばい 貯金課 TEL 63-2162



マネロン・金融犯罪対策への取組強化について

令和7年12月5日

美唄市農業協同組合

代表理事組合長 伊藤 正人

昨今、様々な金融犯罪が発生し、その手法や手口も巧妙かつ高度になってきています。新聞等での報道を見て心配に感じておられる組合員・利用者の方々も多いのではないかと思います。また、国際的に金融機関が取り組まなければならない課題として、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策（以下「マネロン対策」）の重要性が益々高まっています。マネロン・金融犯罪対策に取り組むことは、信用事業を営む当組合の責務でもあります。

当組合では、金融機関としての信頼性を確保するため、そして、お客様の大切な財産を金融犯罪からお守りするために、マネロン・金融犯罪対策の取組みを重要な経営課題と位置づけて、一層力を入れて取り組むことといたします。

このたび、信用部長をマネロン・金融犯罪対策リーダーに任命し、組合全体としての取組みの定着化・高度化に向けて、職員の先頭に立って取組みを進めてもらう予定です。私を含め常勤理事もマネロン・金融犯罪対策が組合内で徹底されるよう指揮のうえ、組合員・利用者の方に安心して当組合を利用いただけるよう取り組んでまいります。

「JAバンクスマイルナビ」

簡易版マニュアル作成のご案内

日頃より「JAバンクスマイルナビ（タブレット）」をご利用いただき、誠にありがとうございます。導入以降、皆様からお寄せいただいた「クミカン等の取引手順をより分かりやすくしてほしい」というご意見に基づき、このたび「簡易版マニュアル」を作成いたしました。操作に迷われた際や、初めてご利用になる際のガイドとして、ぜひご活用ください。

今後も皆様のご意見を反映し、サービスの向上に努めてまいります。引き続き「JAバンクスマイルナビ」をよろしくお願いいたします。

お問い合わせはコチラ↓

 JAびばい 貯金課 TEL 63-2162



この表紙が目印です！

2026年1月6日(火)～2月28日(土)

ダウンロード
無料

日本農業新聞ニュースアプリ ダウンロードキャンペーン



CMに登場した
お米が抽選で当たる!

新米 特別栽培米
コウノトリ育むお米
(無農薬)白米2kg

兵庫県 JAたじま産

30名様



コウノトリ育むお米が
登場する日本農業新聞CMの
特設サイトはこちら



応募方法

日本農業新聞の
一部記事が
無料で読める!

1 まずはアプリを
ダウンロード



※アプリのダウンロードには「Apple ID」または
「Google アカウント」が必要です。
※App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
※Google Playは Google LLCの登録商標です。



2 キャンペーン期間中に
届くプッシュ通知から応募



3 キャンペーン終了後、
当選者に賞品が届きます



注意事項

- アプリをダウンロードしただけでは応募にはなりません。必ず「**プッシュ通知**」を受信できる**設定**にしておき、応募フォームから応募してください。
- 当選発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。当落に関するお問い合わせには、一切お答えできませんのであらかじめご了承ください。
- キャンペーン期間前にアプリを既にダウンロードしていた方も応募できます。



ニュースアプリなら営農に役立つ機能も充実

※日本農業新聞ニュースアプリの全ての機能を使うには、電子版の購読(税込2,403円)が必要です

アプリの
詳細は
こちら



病害虫診断

スマートフォンで撮った写真から、農作物の病気や害虫をAIで判定することができます。

対応品目は、トマト、ブドウ、イチゴ、キュウリ、タマネギ、ジャガイモ、ナス、桃、ピーマン、菊、大豆、カボチャの12品目です。



気象情報

1週間の天気予報に加え、1キロ四方単位の詳細な気温、降水量、日照時間のデータ(過去7日間+今後7日間)を見ることができます。

また、栽培品目の積算温度も計算でき、収穫適期の予測に活用できます。



MY カテゴリ

関心のある用語や、栽培品目、居住地、産地名、JA名などを登録すると、自分だけのカテゴリを作成できます。

カテゴリには自動で記事が分類され、読みたい記事を手軽に探せます。



お問い合わせ 日本農業新聞 電子版事務局 dkanri@agrnews.co.jp



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

www.agrnews.co.jp

▶ J A の概況

< 12 月末 >

○皆さんの貯金	26,387,729千円
○皆さんへの貸出金	5,070,609千円
○皆さんの出資金	702,380千円
○組合員数	(正) 691人
	(准) 3,017人
	(計) 3,708人



沼の内
▼長谷川 キヨ さん
(九十九歳)

十二月二十三日死去

美幌市農協生活改善
運動推進協議会

お悔やみ申しあげます

編集後記

12月のとある日、母親からLINEがきました。文頭に「一番くじ」と書いていたのでもしや…(ポムポムプリン一番くじ以来の仕事だ!)内容をみてみると予想通り、一番くじを引いてほしいという依頼でした。

今回は「ミセスグリーンアップル」のくじでした。早朝からローソンに行くついでに数人の列が!そわそわしながらくじを引くと、なんとかお目当てのぬいぐるみを当てることができました。中身は母親の推しである大森元貴さんが入っていたので無事任務完了の報告ができました!

農協職員

資格認定試験合格者

上級

小林 和紀 (農業資材課)
向 千鶴 (共済推進課)
佐藤 和貴 (共済推進課)
菅野 杏美 (貯金課)
涌井 祐輝 (米麦課)
松井あずさ (農業資材課)
野村 由姫 (農業資材課)

融資課からの
お知らせ

お得なキャンペーンのご案内

JAマイカーローン

キャンペーン基準金利

変動金利

年 2.70%
(通常 年 3.55%)

固定金利

年 3.50%
(通常 年 4.15%)

最大
引き下げ
年 1.0%

JAとのお取引状況により金利を引き下げ

令和8年1月5日(月)～3月31日(火)

※別途保証料が0.65%～0.70%かかります。

最軽減金利

年 1.70%

最軽減金利

年 2.50%

返済額等の試算は
いつでも無料で
行っています。

自動車購入以外にも
お使い道いろいろ!

修理車検代・免許取得費
など!ご相談ください!!

JA教育ローン

令和7年10月1日(水)～令和8年4月30日(木)

1

証書貸付型教育ローン

入学金や学費など金額やお支払い時期が
決まっている方へおすすめ!

変動金利

年 1.80%
(通常 年 3.55%)

固定金利

年 2.20%
(通常 年 4.15%)

※別途保証料が年 0.4%～1.0%かかります。

右記カード型ローンを
同時にお申込いただくと

さらに…

年 0.2% 軽減

2

三菱UFJニコス保証
カード型教育ローン

在学中の費用を必要なときに必要な分だけ
お借入になりたい方へおすすめ!

変動金利

年 1.80%

※別途保証料が年 1.35%かかります。

【おすすめポイント】

★在学中は極度額の範囲内で何度でもお借入可能
★ATMでのお取引なのでお忙しい方にピッタリ!



©よりぞう

お問い合わせはコチラ JAびばい 融資課 TEL 63-2163